

第12回神奈川県弁護士会市民会議 議事概要（平成31年2月19日）

2月19日、当会会館にて、第12回神奈川県弁護士会市民会議が開催された。市民会議は、市民からの要望、意見を広く聴取し、当会の活動、運営に反映させることを目的に、地域の様々な分野から委嘱された10名以内（現在は8名）の委員を構成員として、年に2回ないし3回開催されている。今回は、年度替わりの時期の開催であったため、当会からは現執行部に加え次期執行部も参加した。

初めに一つ目のテーマである「地域司法の拡充に関する弁護士会の取組み」について、地域司法計画委員会の間部俊明会員が、県内の家庭裁判所（出張所）の増設などを求める当会の活動を報告した。

市民委員からは、家庭裁判所増設の必要性は理解できるものの、一般の市民の関心が必ずしも高い分野ではないとの指摘がなされ、家庭裁判所と関わりのある社会福祉協議会などの団体や政治家への働きかけが有効ではないかとの提案がなされた。

次に二つ目のテーマである「子どもの福祉等に関する弁護士会の取組み」について、子どもの権利委員会委員長の庄司宗弘会員及び同委員会委員の金子祐子会員から、児童虐待における児童相談所と弁護士の取組の紹介がなされた。

市民委員からは、児童相談所における弁護士の役割に対する期待が寄せられるとともに、児童相談所に派遣される弁護士の数は十分であるか、派遣される弁護士の専門性はどのように確保しているのかといった質問がなされた。